

もっと、あなたに響くこと。



News Release

2018年8月29日
株式会社ジュピターテレコム
アスマック・エース株式会社

ジュピターテレコムとアスマック・エースが CG映像制作で高い実績のあるダイナモグループと業務提携 ～AR/VR技術を活用したコンテンツを共同開発～

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 井村 公彦、以下 J:COM)と、J:COM の100%子会社であるアスマック・エース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐野 真之、以下 アスマック・エース)は、CG 映像制作事業を中核に、オリジナル立体映像の企画・制作などを手掛ける、株式会社ダイナモピクチャーズ(本社:東京都千代田区神田淡路町、代表取締役社長 広川 ひろし)とその子会社の株式会社ダイナモアミューズメント(ダイナモピクチャーズとダイナモアミューズメントを総称して、以下「ダイナモグループ」)と、このたび AR/VR 技術を活用したオリジナルコンテンツ開発の分野で業務提携契約を締結しましたのでお知らせします。

■協業の背景と目的

J:COM は、メディア事業の成長戦略として、コンテンツの著作・開発(IP)を核として、AR/VR などの技術を取り入れたコンテンツ開発に注力していく計画です。

今回業務提携するダイナモグループは、CG での表現技術に優れ、CG 制作スタジオやモーションキャプチャースタジオを運営する国内で数少ない企業であり、オンライン・オフラインを問わず、コンテンツ企画・制作等で多くの実績を有しております。なかでも同社の強みである、人間の表情筋の動きなど非常に繊細な動きを捉え、CG で表現するモーションキャプチャー技術は、今後急速に拡大が進むと目される XR(AR/ VR など)分野においても必須の技術とされています。

J:COM およびアスマック・エースは、これまでも映画「3月のライオン」プロモーションや、住友商事の「甕島事業」紹介での VR 映像製作において、ダイナモグループと協業実績が多数ありますが、今回の業務提携を通じ、ダイナモグループの得意分野である CG やモーションキャプチャー技術を活用した映像コンテンツ、AR/ VR 技術を活用したエンタテインメントコンテンツ、広告コンテンツの企画制作、イベントの企画・プロデュースかと、J:COM、アスマック・

エースが有するビジネス基盤や人的ネットワークを最大限に生かし、AR/VR 関連、およびその他のコンテンツの企画制作分野において、4 社の協業を更に加速、進化させていく考えです。

■業務提携の概要

(1) オリジナルコンテンツの企画・プロデュース

4 社のもつ人的ネットワークや技術などのビジネス基盤を最大限活用したオリジナルコンテンツの企画・プロデュース・開発・製作とコンテンツ活用事業の展開

(2) オリジナルコンテンツとコンテンツ活用事業の多角展開協力

国内・海外へのオリジナルコンテンツのライセンスやプロモーション実施、また関連企業との協業提案

(3) J.COM の広告営業事業におけるダイナモグループの技術の活用

AR/VR 技術など高度な表現を駆使した質の高い広告コンテンツの制作・商品設計・販売

今回の業務提携を通じて、CG、モーションキャプチャー、AR/VR 等の技術を活用した良質なオリジナルコンテンツを生み出していきます。

<ダイナモグループ代表取締役 広川ひろし氏からのコメント>

「CG 制作、モーションキャプチャー技術などで数々の映像表現を提供してきたダイナモピクチャーズと、その映像技術を活用したロケーションビジネスで“体験”を提供してきたダイナモアミューズメント。両社で長年にわたり蓄積されたノウハウが、近年では AR/VR の「映像＋体験」という特徴にマッチングし、コンテンツの制作・開発に活かされています。

この度の J.COM、アスミック・エースとの業務提携により、さらなる新技術の開発や制作はもちろん、より多くのユーザーの皆様にとって新しくかつ満足度の高い体験を提供していく所存です。業界発展のためにもアトラクション体験にとどまらず様々なアウトプットでの良質な VR コンテンツの提供を目指します。ひいては今回の業務提携がエンターテインメント業界、AR/VR 業界の発展に大きく貢献できればと考えています。」

※モーションキャプチャーとは

現実の人物の体の動きや表情、物体の動きを専用カメラでデジタル的に記録する技術。記録された情報は、スポーツ及びスポーツ医療の分野における選手たちの身体の動きのデータ収集などに利用されたり、ゲームや映画などのコンピュータアニメーションおよびゲームなどにおけるキャラクターの人間らしい動きの再現に利用されたりしています。



ダイナモピクチャーズについて <http://dynapix.jp/>

ダイナモピクチャーズは、主軸となる CG 映像制作事業では映画、ゲーム、TV アニメ、遊技機など、様々なジャンルでハイクオリティな映像表現を提供しています。またモーションキャプチャスタジオ事業は、1995年のオープン以来、日本の草分けとして数多くの作品に参加してきました。現在もそのノウハウを駆使して世界で注目される作品に多数参加しています。

ダイナモアミューズメントについて <http://dynapix.jp/amusement/>

株式会社ダイナモアミューズメントは、株式会社ダイナモピクチャーズの映像技術を活かし、遊園地やテーマパーク、各種イベントなどで活用できるアトラクションコンテンツの企画・制作・プロデュースをしております。体感型シアターアトラクションや、AR/VR、インタラクティブゲーム、各種イベントなど映像を軸にしたさまざまなコンテンツを提供しています。

ジュピターテレコムについて <https://www.jcom.co.jp/corporate/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの26社73局を通じて約543万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,142万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※上記世帯数は2018年6月末現在の数字です。

アスミック・エースについて <https://www.asmik-ace.co.jp/>

アスミック・エース株式会社は、日本映画の製作・配給、外国映画の輸入・配給、および映像コンテンツの制作・販売・配信、アニメ・配信オリジナルドラマ・WEBコミック開発など、映画・映像事業およびライツ企画制作事業を総合的に展開しています。また、映像配信事業として、J:COM/KDDI と「J:COM オンデマンド」「ビデオパス」、ケーブルテレビ向けの IP-VOD サービス「milplus」を展開しています。